

秘密標記 (赤色)

下野大臣

前田事務官

会計課長

北東了了課長

藤田調査官

釜第 827 號

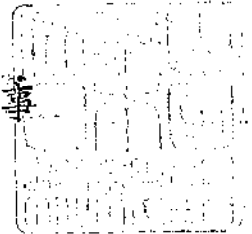
總務室分室

昭和 26 年 11 月 29 日

主計室

外務大臣殿

在 釜 森 山 總 領 事



(件名)

在日韓国人の遺骨送還について

引用公・電信  
口付・番號

11月20日休 往電才194号

1週間を経過し、28日午後1時

釜水寺において「太平洋戦争戦死者  
慰霊祭」の名のもとに韓国側主催で

付屬添付  付屬空便 (行)  付屬空便 (DP)  付屬船便 (貨)  付屬船便 (郵)

本信送付先:

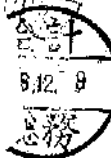
本信寫送付先: 在韓国大使

1592

配付送:

GA-3-1

在外公館



盛大な仏儀が行われた。主催関係者は金水寺本堂前屋外広場に臨時祭壇を設け、246骨箱を数段に並列、最下段に果物、餅、せんべい等の供養品10数個を立て、祭壇前に高さ約7m横20mの高大なプラカード式木枠構造を造り、上部に約1m大の看板式横書き大文字で「大平洋戦争戦没者慰霊祭」と書き、来訪者が対面した場合その下部空間に祭壇全体が収まるよう仮設していた。祭壇両側には国務総理、国会議長、内務部長官、金山大使、森総領事名義の花輪数個づつを立てていたが、右側供花上部掲示板に保健社会部長官弔慰金246万円、同保社部儀式費50万

ウオ、釜山市長供養米500を揚示していた。

儀式は午後1時開始され、市長、国会議員、中央及び釜山知名士数十名の来賓があり、本官も来賓の一人として参詣。その他韓国軍楽隊員、遺族関係者をはじめ一般参詣者は約400名であつたが、諸挨拶各関係者の平辞等は凡てマイクで放送され、読経とバンドの平樂裡に順次スムーズに進行し、<sup>焼香時</sup>本官も関係者のマイク指名により焼香した。加午後2時滞りなく静肅に終了した。以上何等も参考までに、報告申し上げます。